

日本文化Ⅰ－Ⅰ

科目ナンバリング JLT-101
【Ⅲ】 選択 2単位

大脇 淳一

1. 授業の概要(ねらい)

日本文化を語るとき、人間の生活の基準である「衣・食・住」に触れずに語ることはできない。
本講義では、その中でも「住」に焦点を当てていく。「住む」とは?。「家」とは?環境論的視点から、まずは人間が住む場所の地形的立地条件を確認し、日本の自然を「風土」としてとらえ、東京を考現学的に確認していくことにする。

2. 授業の到達目標

・これから必須知識となる環境論的思考を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

・第15回に実施する確認テストによって100%評価する。ただし、授業への参加度(授業アンケートへの回答等)も加点対象とする。
・確認テストは論述形式とし、これまでの講義ノートなど参照可能とする。事前に告知をし、様式等は試験当日に配布をするので、皆さんが自身で準備する必要はありません。

4. 教科書・参考文献

参考文献

齋木崇人 『農村集落地形的立地条件と空間構成に関する研究』

和辻哲郎 『風土—人間学的考察—』 岩波書店

(著)今和次郎/(編)藤森照信 『考現学入門』 ちくま文庫

中部大学編 『アリーナ 特集-民族知としての風水- シンポジウム-風水思想と東アジア-』 風媒社

5. 準備学修の内容

・専門的な用語等については、講義内で適宜分かりやすく説明するので、予習の必要はありません。
・復習に関しては、講義で身につけた知識を日常で実践できるよう、意識をして生活を送ってみてください。
・新聞や雑誌、インターネット等で、関心の持てる記事などを見つけたら、スクラップをして、自身オリジナルの資料を作ってみてください。

6. その他履修上の注意事項

・資料の配布がある場合はLMSにアップロードするので、使い方を確認しておいてください。
・必要に応じて外部講師(ゲストスピーカー)に来てもらう場合があります。
・各回の講義は授業内容によりますが、皆さんの希望や進捗状況により、内容や進度、スケジュールは適宜変更する場合があります。
・状況によってオンライン授業に変更になった場合は、受講生の皆さんの不利益にならない形で、講義や模擬の形態を変更し、情報を伝えるので心配しないでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 地形立地と形態—上代語概念による集落空間の立地分類とその命名—1
- 【第3回】 地形立地と形態—上代語概念による集落空間の立地分類とその命名—2
- 【第4回】 集落空間の構成要素—生産域・居住域・聖域・境界域・水系・道路—
- 【第5回】 類型別にみた集落空間の構成原理1
- 【第6回】 類型別にみた集落空間の構成原理2
- 【第7回】 沖縄の近世集落形成1
- 【第8回】 沖縄の近世集落形成2
- 【第9回】 モンスーン的風土の特殊形態-日本-1
- 【第10回】 モンスーン的風土の特殊形態-日本-2
- 【第11回】 考現学とは何か
- 【第12回】 東京の風俗記録・採集・雑景1
- 【第13回】 東京の風俗記録・採集・雑景2
- 【第14回】 下宿住み学生持物調べ
- 【第15回】 講義全体のまとめと理解度確認テスト